

参加費
無料

オン
ライン

要事前
申込

激変する 世界のなかの 日本

2026

8月3日 月

13:00-16:20
(12:50開場)

13:00-13:10

開会の挨拶 宇野重規 社会科学研究所 所長

13:10-14:10

若者のライフコースと親子間支援 ——韓国との比較から日本社会を考える

新藤麻里 社会科学研究所 助教 専門分野：家族社会学，比較社会学，韓国社会研究

激変する社会の中で、若者が大人になるプロセスはどう変わったのでしょうか。本セミナーでは、若者の就職や結婚の遅れが顕著な韓国社会を事例に、若者のライフコースと親子間支援を、日本との比較も交えながら、データをもとに読み解きます。「大人になる」とは何かについても考えてみたいと思います。

14:15-15:15

越境的な環境損害と日本——紛争解決に焦点を当てて

加藤紫帆 社会科学研究所 准教授 専門分野：国際私法

近年、気候変動や環境汚染、生物多様性の喪失など、地球規模の環境問題への対応が世界的な課題となっています。本講義では、そのような法的対応の一つである紛争解決に焦点を当て、環境損害の越境性（損害の越境性、越境的な企業活動による損害）がもたらす法的課題につき、日本（法）を念頭に考えたいと思います。

15:20-16:20

東南アジアと日本をつなぐ！ ——データの守り方と未来への生かし方

南山泰之 社会科学研究所 准教授 専門分野：図書館情報学

みなさんは、研究者が集めた「データ」が、研究のあとにどうなるか知っていますか？近年、CHATGPTなどのAIツールが爆発的に流行するなか、「データを組織的に管理する」ことの大切さが世界中で注目されています。大切なデータを未来に引き継ぐために、国を超えてどのような協力ができるのか、みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

◇司会・コーディネーター

南山泰之 社会科学研究所 准教授

森本真世 社会科学研究所 准教授

◆会場：オンライン

◆対象：中学校および高等学校教員ほか
(一般の方も参加可能)

◆定員：50名

◆申込締切：2026年7月27日（月）

◆受講証：講義をすべて受講された方には
受講証を発行します
(希望者のみ、PDFにて発行)

◆お申込み方法：

右下の社研ウェブサイトへアクセスし、
必要事項をご記入の上、お申込みください。参加に際し
て配慮が必要な方はお申込時にお知らせください。

◆お問合せ先：

東京大学社会科学研究所
広報室 社研サマーセミナー担当
Email : summerws@iss.u-tokyo.ac.jp

